

神奈鍼会報

第 137 号

平成24年11月22日発行

発行者 小野久雄

編集者 知久京子



社団法人 神奈川県鍼灸マッサージ師会

〒231-0065 神奈川県横浜市中区宮川町 2-55 ルリエ横浜宮川町 304

電話 (045)242-7790 FAX (045)242-7791

E-mail: kanasin@apricot.ocn.ne.jp

臨時代議員会並びに総会報告

平成24年10月24日ルリエ横浜宮川町会議室において臨時代議員会ならびに総会が開催された。

今総会では7月22日に開催された第一回臨時総会により継続審議となった法人移行の件が再審議された。その結果、公益法人化を断念し一般社団法人の認可を受けることが決定した。

次いで開催された代議員会では、はりきゅう療養費不正請求を行った2名の会員を除名処分とすることが決定された。

(社)神奈川県鍼灸マッサージ師会 会長 小野久雄

晩秋の候、会員の皆様におかれましてはいよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は神奈鍼会務にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

10月に関東甲越ブロック協議会、東洋療法推進静岡大会と、大きなイベントが続き関東地方の県師会会員ならびに全国都道府県会員の皆様との交流の場が持たれ、本会からも会員の皆様が参加され、他県の会員がどのような問題を提起し話し合われているかを自身で肌を感じられた事と思います。

本会では社団移行に関し臨時総会を開催し皆様のご意見を頂き、よりよい社団作りを執行したいと考えておりますが、本会の抱える問題は大きく専門家を交え将来に禍根を残さないよう移行を実現するため慎重に進めたいと考えています。

保険請求に関し、10月24日開催された臨時代議員会で会員2名による不正請求が報告され、この2名は除名の決議がされました。

保険取り扱い説明会等に積極的に参加し、間違いのない請求資料の作成にご協力戴きます様お願い申し上げます。

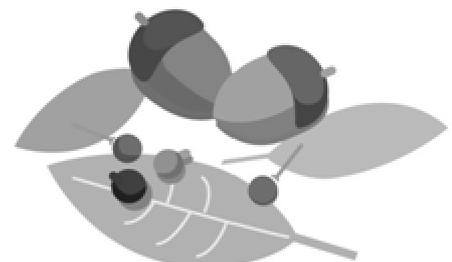
法人移行の審議にあたって

副会長 組織部長 小沢 繁之

10月24日の臨時代議員会ならびに総会に於きまして本会の今後の法人としての方針を審議していただき「一般社団法人」として歩むことが決まりました。本会は機関決定により長い間「公益社団法人」を目指して活動してまいりました。しかし国が定めた社団法人への移行期間の終了が平成25年11月30日に迫っている中、本会が抱える移行に係わる問題点を解決することが難しい状態であることから、理事会で討議し臨時代議員会ならびに総会で審議していただきました。

私に対しても「杉田前会長と共に公益法人化を目指してきたあなたの責任も大きい」という厳しいご意見を会員のみなさまからいただきました。全鍼師会の公益移行の状況や変化する国などの情報から、本会の特性に準拠した方法を検討していたため初動が遅くなったことは反省しなければならないと考えております。しかし、社団法人をこのまま放置して終了期限を迎えれば「解散」となり、財産は原則として同種の団体に譲渡されることになりそのような状態になることは絶対に回避しなければならないことと、「公益社団」に移行したとしても条件が満たされなくなったときはやはり「解散」となってしまうのに対し「一般社団」であれば条件が満たされたときには「公益社団」へ移行できることなどから私は「組織の安全な存続」を第一に考えなければならないという結論に至りました。臨時代議員会ならびに総会での決議にありますとおり、今後本会における問題の解決に努力して「公益社団」への移行を目指して微力ではありますが理事として会員として努力してまいりたいと考えております。

ご理解ご協力いただきました代議員、会員の皆様に感謝申し上げますと共に、今後ともご支援いただきますようよろしくお願いいたします。



第65回関東甲越ブロック協議会開催



第65回関東甲越ブロック協議会が、9月30日、10月1日の2日間に渡り、群馬県伊香保温泉、森秋旅館に於いて開催された。初日は台風の上陸が予想されたが、夕刻から夜間に掛けて風雨が強まったものの、翌日はからりと晴れ、滞りなく予定通りの進行だった。開会式では来賓の山本一太参議院議員が、ご自身のひどい眩暈の症状が鍼灸マッサージによって救われたという体験談を、ユーモアを交えて話されたのが印象的だった。



開会式後、「認知症の正しい理解と包括医療・ケアのポイント」（講師：群馬大学大学院教授、山口晴保先生）と、「消化器がんの診断・治療・予防—最新の治療法—」（西群馬病院副院長、蒔田富士雄先生）の二つの講演が行われた。両講演とも解り易く、大変充実した内容で、あっという間の180分だった。

翌日は全体協議会が行われ、現在直面している数々の問題点について協議された。その後、来年神奈川大会での再会を約束し、万歳を三唱して閉会となった。

報告：総務部 太田 修二





第11回東洋療法推進大会 in 静岡



平成24年10月14日～15日の2日間、熱海後楽園ホテルにて開催。

初日の特別講演では、参議院議員でジャーナリストの有田芳生氏による「身体と心に鍼灸を～被災地で実感した鍼灸の力～」をテーマに、鍼灸との出会いから、東日本大震災でのボランティアの経験をお話頂きました。また「はり100本」の著者、竹村文近氏との対談も行われました。

介護事業推進委員会企画の学術講演では「認知症ゆとりの介護」をテーマに、地元静岡市内で開業されている医師萩原秀男先生の講演があり、具体的な認知症患者への対応方法や、誤った対応が周辺症状を悪化させる例など、示唆に富む内容でした。

一般講演には7題のエントリーがあり、神奈鍼代表として大和師会の知久京子先生が参加されています。

「耳針を取り入れた花粉症治療～花粉症針治療効果の持続についての研究」とのテーマで、眼点、内鼻点、アレルギー点へ施術を行い、全6症例から耳針の効果を検討した発表で、治療の有効性を示唆する報告でした。

2日目の「地域医療における鍼灸マッサージ師の役割～療養費の今後について～」では、我々の療養費申請に対する審査は年々厳しくなっており、全国的にも返戻や不支給が増えている等の報告もあり、評価報告書を作成する重要性等、今後業界としての努力の必要性を感じる内容でした。

全国から臨床経験豊富な会員が参加される大会であり、様々な先生方と情報交換できることが、東洋療法推進大会の魅力の一つでもあります。患者に真摯に向き合う姿勢、臨床に対する探究心等、多くの刺激を頂きました。来年の新潟大会でまたお会いしましょう！

報告：神奈鍼学術委員 西村 博志

東洋療法推進大会は、ご存知の方も多いかと思いますが、以前は「全鍼師会大会」として開催されてきました。全鍼師会が公益社団法人としてより公益的な活動を重視していくことになり、内容を強化して東洋療法推進大会となり毎年開催されている全鍼師会最大のイベントとして厚生労働省や開催地の自治体および関係団体などに後援していただいています。目的は「全国の鍼灸マッサージ師の資質向上に資するために、公開講座ならびに研修と臨床の学技の場を提供すると共に、鍼灸マッサージ業界の発展はもとより、一般公開講座をもって、国民へのより良質の医療と情報を提供するための大会とする」という点にあります。

今年は「今こそ東洋医学を考えよう！」を大会テーマに特別講演や興味深い分科会の数々など多彩なプログラムが用意されました。各分科会の内容については「月間東洋療法11月号」に担当者が原稿を書いていますのでぜひお読みになって大会の熱気に触れてください。

講演や分科会のほかにも懇親会では全国の400人を超える仲間が語り合い、スポンサーの提供による豪華商品の抽選会もあり、その後希望者はさらに二次会で語り合い親交を深める有意義な時間を過ごしました。また協同組合のパートナー企業の出展による医療関係機器や健康関連用品、食料品、パソコン関連ソフト、保健関連相談などのデモンストレーションや即売など楽しいプログラムも多彩でした。ぜひ来年の新潟で開催される大会と一緒に参加しませんか。みんなで学と術を学び情報を吸収しコミュニケーションの時を楽しみましょう。よろしく願いいたします。

副会長 組織部長 小沢 繁之

学術部報告

■第2回学術講習会 報告書

第4ブロック学術委員 西村 博志

日時：平成24年10月28日(日)

場所：横浜市技能文化会館

■第1部 13:00～16:00

演題 「星状神経節及び上頸神経節置鍼法」～理論と実技

講師 山田鍼灸治療院 院長 山田 幹夫 先生

■第2部 16:00～16:45

演題 地域健康づくり指導者研修会③「ゼンシン体操指導法」

講師 神奈鍼 介護予防研究会委員長 林 秀卓 先生

■第3部 16:45～17:30

演題 スポーツ講習会②「現場で使えるストレッチング・PNF」

講師 神奈川衛生学園専門学校 非常勤講師 朝日山 一男 先生

第1部の「星状神経節及び上頸神経節置鍼法」は、渡邊一男氏が昭和47年東北大学医学部麻酔科での研究時に開発した、寸6-2番鍼(50mm 18号)を用いた管鍼法による刺鍼法で、自律神経とγ神経に関わりの深い疾患や症候群に適応する治療法と考えられています。星状神経節または上頸神経節に刺鍼し、前頸部の頸長筋を揺り動かすことにより、交感神経節に出入りしている神経線維や血管を刺激し、自律神経中枢を介した神経性調節、化学伝達物質やホルモンの産生放出による化学性調節を行うことを目的としています。

今回の講習では、アレルギー性鼻炎と偏頭痛治療のデモンストレーションを行って頂きましたが、刺鍼部位は気胸のリスクもあり、一定の刺鍼技術が必要とのことでした。



第2部では、ゼンシン体操指導法で、1) チェアエクササイズで上肢・体幹・大腿部・下腿部の運動の流れ 2) 運動指導のポイ

ント 3) 運動習慣のない参加者と指導者の対応 4) ゼンシン体操のバリエーションを説明後、グループワークにて指導体験を実施しました。



第3部のスポーツ講習会では、2人1組になり、主に大腿筋群を中心にストレッチングとPNFの実技を行っています。角度を少し変えることで、大腿二頭筋と半腱・半膜様筋のストレッチに違いが出ることなど、特定の筋を狙った細かな指導をして頂きました。



組織部からのお知らせ

第2回学術講習会、第1部の講師、山田幹夫先生から、視覚障害を有する受講者等が理解を深められるようにと、渡邊一男先生御著書の音声版CDをいただきました。コピーの許可もいただいておりますので希望される方は事務所へ12月10日までに申し込んでください。無料で頒布いたしますが、お渡しできるのはDAISY(デイジー)形式のCDのみで、ほかのフォーマットやメディアのご希望には対応できません。お問い合わせは 組織部 小沢(045-823-0394)までお願いします。

第3回 神奈鍼学術講習会のお知らせ

本会、第3回学術講習会についてご案内いたします。この研修会は、東洋療法試験財団(厚生労働省直轄)の生涯研修認定講習会となっております。

今回の講習会は、八千代リハビリテーション学院学院長 今井 基次 先生にお願いいただき、1部「脳血管障害に対するリハビリテーション」と2部「PNFについて」～理論と実技を講義いただきます。1部では県民公開講座として家庭でもできるリハビリの講演と、2部では専門的にPNFを学び即臨床に役立つ内容です。3部は健康づくり指導者研修、4部はスポーツ講習会と充実した内容となっておりますので、奮ってご参加をお待ちしております。

日時 平成24年12月2日(日)
10:00 開場
会場 神奈川県小田原市本町1-5-12
小田原市民会館第7会議室
JR小田原駅徒歩7分



- 第1部 10:30~12:00 県民公開講座
講師 八千代リハビリテーション学院学院長 今井 基次 先生
演題 「脳血管障害に対するリハビリテーション」
- 第2部 13:00~16:00
講師 八千代リハビリテーション学院学院長 今井 基次 先生
演題 「PNFについて」～理論と実技
- 第3部 16:00~16:45
講師 介護予防研究委員会 委員長 林 秀卓 先生
演題 「地域健康づくり指導者研修会」④
「チェアエクササイズ/デモンストレーション/グループワーク」
- 第4部 16:45~17:30
講師 神奈川衛生学園 非常勤講師 朝日山 一男 先生
演題 「スポーツ講習会」③

* 参加費 会員 1,000円
従業員会員・学生 500円
非会員 5,000円

* 神奈鍼会員は受講カードを持参
願います。
* 第1部の県民公開講座は無料です。

第4回 神奈鍼学術講習会及び会場決定のお知らせ

本会、第4回学術講習会についてご案内いたします。また、講演会場が下記のように決定となりましたのでお知らせいたします。

この研修会は、東洋療法試験財団(厚生労働省直轄)の生涯研修認定講習会となっております。

今回の講習会は、1部では鍼灸マッサージの臨床においても扱うことが多い「脊柱管狭窄症」について「診断法から治療法まで」神奈川県医師会の整形外科の先生より解りやすく解説していただきます。

2部では日本の統合医療の先駆者であり、東洋医学にも造詣が深い青山自然医療研究所所長である川嶋朗先生にご登壇いただき「統合医療の現状と将来」について講演いただきます。

1・2部ともにとっても有意義な講演内容ですので奮ってご参加をお待ちしております。

日時 平成25年2月3日(日) 12:30開場

会場 大和商工会議所

神奈川県大和市中心1-5-40 小田急線・相鉄線 大和駅徒歩3分

第1席 13:00~14:30

演題 「腰痛の診断と治療」～腰部脊柱管狭窄症を中心に～

講師 (公社)神奈川県医師会推薦講師

第2席 14:45~16:15

演題 「統合医療の現状と将来」

講師 東京女子医科大学付属青山自然医療研究所 所長 川嶋朗先生

* 参加費

会員 1,000円

従業員会員・学生 500円

非会員 5,000円

* 神奈鍼会員は受講カードを持参願います。



ブロック情報

第5ブロック学術講習会の報告

広報委員 安藤 誓子

今回は、ベッドサイトティーチングの形式で師会の先生方に講師を依頼し、平成24年9月2日(日)小田原市民会館にて13~16時まで下記の通り、講習会を行いました。

一 部 「指圧マッサージの効果的な手技について」

小田原師会 鈴木静夫 先生

持続効果を高める目的で、独自の指圧方法で斜め圧をかけ、筋肉をストレッチするイメージで行います。肌に直接することも重要なポイントでした。



二 部 「筋麻痺に対する骨格筋へのアプローチ」

足柄上師会 三鍋太郎 先生

短縮した筋肉を刺激することで、可動域を広げます。理論に基づいた、頭部へのアプローチ（オステオパシー）も披露していただきました。

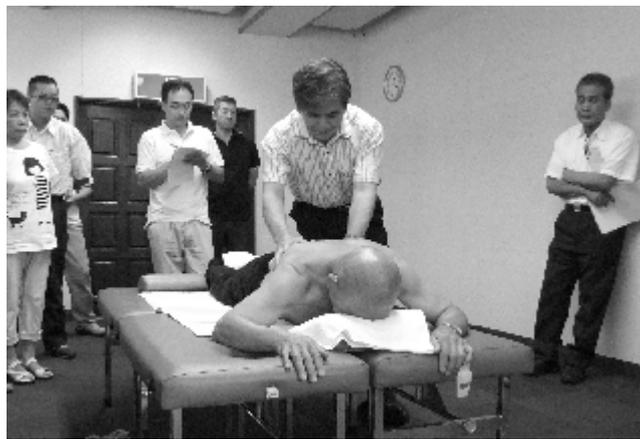
三 部 「鍼灸臨床」

湯河原師会 梅田 勲 先生

いくつかの診断法や患者への多角的な観察は、十分に時間をかけ治療を決定します。本治法の鍼治療後、手品のように症状が改善し感動しました。

先生方の流れるような実技に熱い視線が注がれ、巧みな話術に参加者は学生に戻った気分だったようでした。質疑応答も含め、大変に有意義な時間でした。

また、今回より師会活動のアピールを兼ねて、師会会員以外の資格者や学生の参加も可能となりました。参加者は31名でした。(会員:28名)



●小田原師会イベント●

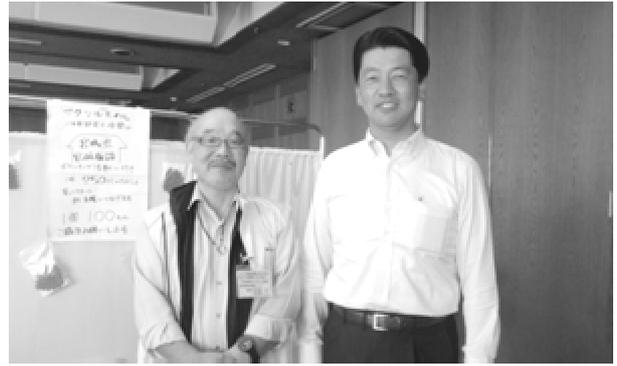
平成24年10月13～14日、「ふれあいフェスティバル」保健センターにて“チャリティマッサージ・はり”を行いました。利用者は112名。

(チャリティの収益金は、小田原市社会福祉協議会に寄付します。)

新たな試みとして、震災ボランティアに参加した業友が宮城県宮前の仮設住宅で作られた「アクリル毛糸たわし」を購入し今回、会場で支援の形で78個を販売しました。この活動は、直接支援としても効果が高く同じ地区とつながっていくことを、目的にしています。会場には、小田原市長も視察され、この支援活動をアピールできました。購入された方の中から、「宮城県出身です。ありがとうございます。」「良い活動ですね。」などの声をいただきました。

ボランティアには16名の師会員が参加しました。昨年に引き続き、活動費は震災支援に使われます。今後も師会員の協力と理解を得て、長く続けていきたいと考えています。

報告：小田原師会会長 奈良 賢治



加藤憲一小田原市長と

第4ブロックより

湘南藤沢市民マラソンの日時が変更になりました

変更前：平成25年2月24日(日)→ **変更後：平成25年1月27日(日)**
へ変更となりました。

藤沢師会以外の方でマッサージボランティア参加希望者は、平成25年1月20日までに、西村携帯：090-2537-5571、もしくは藤沢市鍼灸マッサージ師会事務所：0466-28-8981まで連絡を下さい。

第3ブロックより

第3ブロック講習会の会場が未定でしたが下記の通り決定しました。
どうぞよろしくお願ひいたします。

日 時：平成25年3月3日(日)

場 所：鎌倉市福祉センター(JR鎌倉駅下車7分)

演 題：「脳卒中後遺症に対する鍼灸手技療法」

講 師：埼玉医大 山口 智 先生

問合せ：沢田 090-7732-8049



被災地ボランティア感有り

鎌倉逗葉師会 梅田 春樹

昨年は6月、8月そして本年は6月と3度訪問し、今回は9月22日（土）～23日（日）の日程で、会員12名、外部2名の総勢14名で参加してまいりました。

当日は朝から雨模様でしたが、受入れの宮城県亘理町の仮設住宅4会場にそれぞれ分散して105名の住民に真心からの施術をする事ができました。

その皆様は、私たちの訪問を心待ちに、楽しみにしてくださり、なかには「今日は〇〇先生来ているの！」等、過去に施術を受けた先生のお名前を覚えているようで定期的な訪問によって人間的な絆が生まれ始めています。

特に今回感じた事は、被災者の心のストレスは1年6ヶ月以上経った現在でも相当なもので、あの忌まわしい3・11より声を失った老婦人や、余震に怯えて不眠症に陥った人、腰痛、膝関節症等多くみられます。私の担当した会場では以外にも鍼の希望者が半数にもものぼりその殆どの方が初体験との事で、鍼の普及にも大いに貢献しています。

そして私たちの活動は決して上から目線ではなく、被災者の苦しみ的一端でも我が苦しみと感じ、同苦するという事が大切な点で、参加した各人が内面的な世界の広がりを実感できるものと確信いたします。

今後現地の復興の進展状況や、来期以降神奈鍼の事業計画次第で、あと何年被災地ボランティアができるか判断できませんが、現地の業友に迷惑が掛からない範囲で継続できるよう公私にわたり進展させていくよう努力いたします。

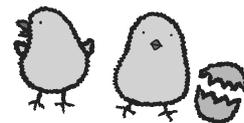
厚生部からのお知らせ

ご結婚おめでとうございます



♥ 鎌倉逗葉師会 角谷 麻生 様

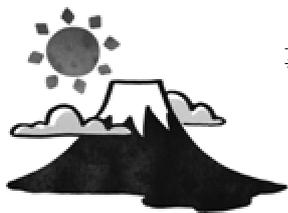
ご出産おめでとうございます



♣ 川崎師会 深谷 大介 様
♣ 浜鍼師会 佐藤 宣子 様
♣ 藤沢師会 富岡 敦 様

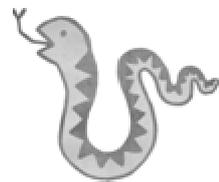


神奈鍼事務所年末年始休業のお知らせ



事務所年末年始のお休みは下記の通りでございます。
事務所にご用の方はご注意ください。

平成24年12月29日(土)より
平成25年1月3日(木)まで



平成25年1月4日(金)より平常通りです。



入会者名簿 (会報第136号以降)

| 師会名 | 会員番号 | 氏名 | 入会年月 | 師会名 | 会員番号 | 氏名 | 入会年月 |
|-------|------|-------|---------|-------|------|-------|---------|
| 横須賀三浦 | 4333 | 津田康夫 | H24年08月 | 小田原 | 4344 | 山戸一徳 | H24年10月 |
| 浜鍼 | 4334 | 松野靖史 | H24年08月 | 川崎 | 4345 | 後藤朗 | H24年10月 |
| 浜鍼 | 4335 | 野澤真理子 | H24年09月 | 鎌倉逗葉 | 4346 | 谷原正志 | H24年10月 |
| 小田原 | 4336 | 高橋知明 | H24年08月 | 浜鍼 | 4347 | 渡部佳哉 | H24年10月 |
| 川崎 | 4337 | 清水麻智子 | H24年09月 | 鎌倉逗葉 | 4348 | 柳田憲作 | H24年10月 |
| 茅ヶ崎寒川 | 4338 | 武田紀行 | H24年09月 | 相模原 | 4349 | 中出満 | H24年10月 |
| 浜鍼 | 4339 | 清水亜紀子 | H24年09月 | 浜鍼 | 4350 | 小野垣光郎 | H24年10月 |
| 藤沢 | 4340 | 内田充 | H24年09月 | 浜鍼 | 4351 | 竹原万希子 | H24年10月 |
| 浜鍼 | 4341 | 建部正美 | H24年09月 | 浜鍼 | 4352 | 伊藤浩明 | H24年11月 |
| 浜鍼 | 4342 | 峯松宏之 | H24年09月 | 浜鍼 | 4353 | 勝部祐介 | H24年11月 |
| 浜鍼 | 4343 | 金子孝雅 | H24年10月 | 茅ヶ崎寒川 | 4354 | 吉村秀男 | H24年10月 |

退会者名簿 (会報第136号以降)

| 師会名 | 氏名 | 退会年月 | 師会名 | 氏名 | 退会年月 |
|------|------|---------|------|-------|---------|
| 小田原 | 志貴静香 | H24年06月 | 浜鍼 | 平川裕三 | H24年09月 |
| 浜鍼 | 笠原統樹 | H24年08月 | 川崎 | 荒川和人 | H24年10月 |
| 浜鍼 | 飯塚宏司 | H24年08月 | 川崎 | 中台正平 | H24年10月 |
| 平塚 | 岡村喜友 | H24年09月 | 秦野 | 芦川スエ子 | H24年10月 |
| 浜鍼 | 藤間雅己 | H24年09月 | 浜鍼 | 平山和也 | H24年10月 |
| 鎌倉逗葉 | 金井正人 | H24年09月 | 鎌倉逗葉 | 金井健吉 | H24年10月 |
| 浜鍼 | 瀧澤一寛 | H24年09月 | 藤沢 | 大森忠義 | H24年10月 |
| 川崎 | 藤巻潮 | H24年09月 | 平塚 | 高橋純 | H24年10月 |
| 浜鍼 | 林見昭宏 | H24年09月 | 浜鍼 | 佐藤宣子 | H24年10月 |
| 浜鍼 | 田中八郎 | H24年09月 | 川崎 | 池崎通夫 | H24年10月 |
| 浜鍼 | 遠藤靖美 | H24年09月 | | | |